



保育 (=)は  
雲相談

大私教

2018

# 夏季教研

6月 23日 24日  
 参加費 1000円  
 1泊2食 7500円  
 1泊朝食 6000円  
 4食のみ 2000円

会場：Uコミュニティホテル  
 TTSセンター  
 近鉄奈良線・河内小阪駅 北へ徒歩3分

6月 23日(土) 14:30 受付 15:00 開会  
 24日(日) 9:00 ~ 13:00

講演  
 テーマ



## 学校が変わるとき ~ 子供たちを社会の光に ~ (仮)

記念講演： 齋藤 真人さん (福岡 立花高等学校校長)

立花高校は福岡県にある全日制・単位制普通科の私立高校。設立は1957年、「一人の子を粗末にする教育はその光を失う」を理念として、当時の教育に違和感を抱いた公立高校の先生たちが、退職金を持ち寄って建学。その後、経営母体や学校名が何度か変わり、1970年代には全校生徒が3人になったことも。それでも「一人の子を大切にすること」という理念の下で学校運営を存続し、今では不登校生徒の自立を支援する学校として500名を超える生徒が在籍しています。

齋藤先生には立花高校で、どのように子どもたちを大切に受け入れ、支援し、成長を保障しようとしてきているのかという話を聞けたらと思っています。全校生徒の約8割が小中学校で不登校を経験し、発達に課題を抱える子どもたちも少なくないそうです。教員全員で、子どもたち一人ひとりをどう支えたいのか考え合い、それぞれが過ごしやすい学校に変わっていきけるよう、柔軟な体制をつくろうとしている立花高校。学校のやり方に子どもたちが合わせて変わっていくのではなく、子どもたちの成長や課題に合わせて学校が変わっていく、そういうしなやかな学校で、子どもたちはのびのび変わっていく。そんな立花高校の教育について齋藤先生にお話してもらい、私たちも自分たちの学校でどんなふうに子どもたちを大切にできるのか、みんなで考え合えるといいなと思います。

### 23日(土) Time Table

- 14:30~ 受付
- 15:00~ 全体会開会 (TTSセンター)  
◇基調報告
- 15:30~ ◇記念講演 齋藤真人さん  
◇大阪の先生たちのお話を聞く時間  
◇交流会
- 19:00~ 夕食
- 20:00~ 夜のつどい  
◇青年部企画の分科会  
◇サタデーナイトシアター
- 22:00~ 夜の交流会

### 24日(日)

- 7:00~ 朝食 (宿泊参加者)
- 8:30~ 受付
- 9:00~ 分科会  
◇「行事・クラスづくり」分科会  
◇「高校生と共に学習する」分科会  
◇「先生になるということ、先生でいられるということ」分科会  
◇その他企画中
- 12:00~ 終わりのつどい
- 13:00 閉会





# 山びこ学校

今井 正監督作品

# サタデーナイトシアター

**物語** 山形県村山郡山元村の中学校では、無着先生のクラスの生徒たちが頻りに欠席。この貧しい村で生活するために人々は必死になって働かねばならず、欠席している生徒たちは家の仕事を手伝っていたのだ。それでも、無着先生はこの生徒たちになんとか勉強をさせてやりたいと一生懸命。最後の修学旅行に行く費用が出せない生徒8人のために、他の生徒たちみんなと一緒に杉皮運びをして費用を作った。無着先生は、教師仲間と本当の教育とは何かを話し合う。そしてどうすれば貧困をなくせるかをみんなで考えよう、と生徒たちにありのままの生活を正直に綴らせようとする。



## 分科会



生徒も先生もOBも保護者もごちゃ混ぜで「学校!?」って考えてみよう!!

と!!いうわけですが、今年も企画します!  
おまじま口練り練り中心、(ほまじま)としか決まらず  
**いざこざのいい学校** であるために、  
今年も、今年も、を、**世代を超えて**  
語り、考えあえたらいい、と思っております。  
先生、その立場から学校の主体者として  
「わたしたちの学校」について考えませんか?

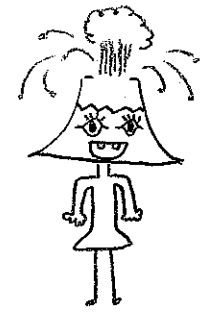
## 夜のつどい

今年もやります!!  
**毎年恒例の青年部分科会!!**  
今年も2本のレポートを予定しています。  
昨年度、卒業生を送り出した先生が、  
卒業生を送り出して思うこと...  
そんな思いを胸に、現在のHR運営を語ります。  
担任だったはずなのに副担任...  
その間、採用された1年目の先生と共に  
歩む担任のHR運営実践について語ります。  
「担任をもって、こんなクラスを作りたい」  
「副担任むけて、こんな実践もあるんだ!」  
みなさんと共に学び合い、交流しましょう!!

「先生、今年もやります!!」

## 行事・クラスづくり

先生になって一番悩むのは今も昔も行事づくり...。でも悩む分、クラスも取り組み方で大きく変わります。そんな行事づくりに平和や学びをプラスする。レポートを美真学園の小林先生から。  
そして、看護科3年間のクラスづくりを中心に、歴史ある千代田から新たな道に進む曙光。そんな中を過ごしてきた10年あまりを大阪曙光の笹沢先生に熱く語っていただきます。どちらもベテランと若手をつなぐ報告です。  
8910 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ



### 『先生になるということ、先生でいられるということ』分科会

ある生徒が「先生は教えているときに、いつも楽しそうな顔をして教えています」と書いてくれました。うれしいことです。元気もらったような気持ちになります。子どもとかかわりのなかで「先生になるということ、先生でいられるということ」の確かさに触れることができれば、どんなに幸せなことでしょう。どんなに忙しくてもよい仕事ができる、どんなに疲れても心の豊かさを感じることができる、そんな教師でありたいと思うのです。でも、それがどんなにむずかしいことか。  
気になった子どもがいたのに、話したい先生がいたのに...と思うだけの毎日。私がいなくても...と、つい、思ったり。でも、「せんせえ...」と声をかけられると、やっぱりうれしくなる。  
先生っていう仕事の不思議さ。それは先生をしている私の不思議さでもあるのだけれど、そんなことをぼつぼつと語りあう。ここはそんな分科会です。  
「ILO・ユネスコの教員の地位に関する勧告」の話もありますが、悩んでいること、うれしかったことを交流し合い、そして先生でいようと思えるような、そんな時間を過ごしましょう。

